

日本文化を考える

「怨霊」を語る日本文化

木3 久保 勇 先生

キーワード：古典文学 中世 軍記物語 伝承 平家物語 保元物語 怨霊 鎮魂 御霊信仰

 実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

- 国文学研究資料館【<http://www.nijl.ac.jp/>】
日本文学研究の論文・資料を収集する際の基本的なデータベースです。
- 軍記・語り物研究会【<http://gunki.sakura.ne.jp/>】
軍記文学研究を専門にした研究会で『軍記と語り物』誌を発行しています。文献目録やリンク集が便利。
- 国立国会図書館【<http://opac.ndl.go.jp/>】
文学のみならず、歴史学研究、民俗学研究など、総合的に資料・論文を検索する際はこちらを使いましょう。
- 怪異・妖怪伝承データベース【<http://asagi1.nichibun.ac.jp/YoukaiDB2/index.html>】
国際日本文化研究センターが運営するDBで、各地の怪異伝承や研究論文を掲載しています。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

のついている図書は、授業期間中(10月～3月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

軍記物語の本文と注釈

- 『将門記；陸奥話記；保元物語；平治物語』柳瀬喜代志ほか校注・訳 小学館 2002
校訂本文がこなれていて、現代語訳も付き、古典が苦手な人でも読みやすい注釈書です。
[本館閲覧室4階 918/SH69]
- 『保元物語；平治物語』(日本古典文学大系31) 永積安明, 島田勇雄校注 岩波書店 1961
多くの写本が現存する第四類本(金刀比羅本)本文に注釈がされており、古活字本本文も掲載してあります。
[本館閲覧室4階 918/N77]
- 『保元物語 平治物語 承久記』(新日本古典文学大系43) 栃木孝惟ほか校注 岩波書店 1992
上の「旧大系」とは底本が異なり、研究がさかんな古態系の本文を底本にしています。付録の史料が便利です。
[本館閲覧室4階 918/SH64]
- 『平家物語(上・下)』(日本古典文学大系32,33) 高木市之助ほか校注 岩波書店 1959-1960
一般的によく読まれている「覚一本」系本文を利用する場合は、こちらの龍谷大学本を使います。
[本館閲覧室4階 918/N77]
- 『校訂延慶本平家物語(1-12)』 栃木孝惟, 谷口耕一編 汲古書院 2000-
現存する『平家物語』で最古態とされ、研究が多い延慶本(えんきょうぼん)の最新校訂本文です。
[本館閲覧室4階 913.434/KOU]
- 『延慶本平家物語全注釈』(第一本～第二中) 延慶本注釈の会編 汲古書院 2005-
長く注釈書がなかった延慶本の注釈書で、参考文献も充実しており、調査を深めていくには必読の書です。
[本館閲覧室4階 913.434/ENK]
- 『源平盛衰記(1-6)』市古貞次ほか校注 三弥井書店 1991-
源平盛衰記は『平家物語』の一異本であり、もっとも記事量が多く、独自の傍系説話を含んでいます。
[本館閲覧室4階 913.434/GEN]

個別の伝説・伝承を研究している文献

- 『将門伝説：民衆の心に生きる英雄』梶原正昭, 矢代和夫共著 1975
数多い将門伝説を探る文献の中でもパイプ的な位置を占める名著です。
[本館閲覧室2階 210.37/KA23]
- 『中世説話文学論考』春田宣 おうふう 1996
論文「平家物語に見える怨霊」(1983)を収めています。
[図書館配架予定]
- 『崇徳院怨霊の研究』山田雄司 思文閣出版 2001
歴史学の立場から、崇徳院怨霊をテーマにした図書です。
[本館閲覧室2階 288.41/SUT]

- 『語り物序説：「平家」語りの発生と表現』兵藤裕己著 有精堂 1985
「平家」語りとモノ語り(鎮魂)の問題を考究しており、軍記文学と鎮魂の問題を考えるためには読んでおきたい一書です。
[本館閲覧室4階 913.45/H99]
- 『軍記と王権のイデオロギー』大津雄一著 翰林書房 2005
「共同体」に危機をもたらすものとしての「怨霊」に注目する問題意識が第一章に明解に示されています。
[本館閲覧室4階 913.43/GUN]
- 『日本中世の伝承世界』樋口州男 校倉書房 2005
怨霊を語ってきた「歴史」そのものの問題を掘り下げています。本書の書評は<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/index.html> で読めます。
[図書館配架予定]
- 『平家物語 装置としての古典』高木信 春風社 2008
「第 部亡霊 / 怨霊と、鎮魂のシステム」は独自の方法で『平家物語』を読み解いていく、新しい視点を与えてくれるでしょう。
[図書館配架予定]

数々の怨霊を取り上げた文献

- 『天皇家怨霊秘史(歴史読本臨時増刊)』新人物往来社 1989
怨霊の特集号であり、入門書として参考になるでしょう。
[本館閲覧室2階 288.41/TEN]
- 『日本の呪い「闇の心性」が生み出す文化とは』小松和彦 光文社 1988
文化人類学を専門とする著者が「呪い」をキーワードに日本文化を考えています。
[本館閲覧室3階 387/NIH]
- 『跋扈する怨霊：崇りと鎮魂の日本史』山田雄司著 吉川弘文館 2007
『崇徳院怨霊の研究』の著者が、日本史におけるさまざまな怨霊を概説しています。
[本館閲覧室3階 387.9/BAK]
- 『怨霊になった天皇』竹田恒泰著 小学館 2009
天皇家の血筋を引く著者が綴った怨霊論。最新の入門書として面白いでしょう。
[本館閲覧室2階 288.41/ONR]

参考図書(辞書・事典等) 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。
『本館参考』にあるものは図書館内で利用して下さい。

- 『平家物語研究事典』市古貞次編 明治書院 1978
『平家物語』に関する基本的事項は本書で調べましょう。ただ刊行が古いので、最新の注釈書などの注記と併せて確認した方が良いでしょう。
[本館参考 913.45/H51]
- 『国史大辞典』国史大辞典編集委員会編 吉川弘文館 1979-1997
歴史的事象を調べる際の基本辞典。確認事項はこちらで調べるようにしましょう。
[本館参考 210.03/KO53]
- 『日本伝奇伝説大事典』乾克己ほか編 角川書店 1986
全国各地に伝わる神話・伝説・昔話・説話・奇談・人物の逸話などを調べることができます。
[本館参考 388.03/N77]
[本館閲覧室3階 388.03/N77]
- 『日本奇談逸話伝説大事典』志村有弘, 松本寧至編 勉誠社 1994
実在の人物や事件、伝説的な物語を伝えてきた奇談逸話伝説に関する500項目を詳しく解説しています。
[本館参考 281.03/NIH]
- 『人物伝承事典 古代・中世編』樋口州男・小野一之・谷口榮・鈴木彰 東京堂出版 2004
神話的存在から実在した人まで、その歴史的業績と人物に関わる伝承について知ることができます。
[本館参考 281/JIN]

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

作成:千葉大学附属図書館 2009.10.1